

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人 **小羊学園**

〒431-1304

静岡県浜松市北区細江町中川7440-1

電話：053-437-0826 FAX：053-437-0849

E-mail kohituji@imix.or.jp

H.P <http://www.imix.or.jp/kohituji/>

発行人：稲松 義人

印刷所：聖隷サービス(有)

定 価：一部 30 円

2007年6月20日

第 293 号

弱い人の声は聞こえない

理事長 稲松 義人

戦後日本の経済偏重による見せ掛けの豊かさがあやしくなってきた、人々に不満と不安が広がってきています。何とか社会システムを変更することでそれに対応しようと、あちこちで「構造改革」が進められてきているのでしょ

う。政治に携わる人たちは、与党も野党も異口同音に改革の必要性を訴えます。選挙の前になると、与党であれ野党であれ、ほとんどの立候補者が、国民(市民)に向かって、社会的に「弱い立場の人たち」にも配慮された社会づくりを訴えます。しかし、選挙が終わると、いつの時代も「強い立場にいる人たちの」の発想によって、ものごとが決まってしまうような気がします。

小羊学園も社会福祉施設ですから、「弱い立場の人たち」を支援する仕事の一端を担ってきました。もちろん反省すべき点はたくさんありますが、精一杯努力してきたつもりです。社会福祉へ取り組む主体は、民間施設やNPO団体など様々でいいと思いますが、社会福祉の課題を受け止めること、「弱い立場にいる人たちの」の声にも耳を傾けることは、本質的に政治や行政

の役割であり、民主主義の基本ではないかと思えます。そして私たちは、そのことに誠実に取り組んでくれる人たちを自分たちの代表として選びたいものです。それが「パブリック(公)」ということではないかと思うのです。

制度が次々と変更になることで現場は混乱しています。現場とは、課題に直接向き合っていて、それに対応する役割のあるところです。行政からすると、小羊学園のような施設は、福祉を担う現場の一つということになりますが、小羊学園の中では、利用者を直接介護する役割の人たちを現場職員といい、彼らの実践の場が「現場」ということになります。

私は四月から、児童寮と青年寮の施設長を兼務することになり、毎日のように、現場から多種多様な問い掛けを突きつけられておろおろしながら過ごしています。一人ひとりの利用者への対応で特に施設長として判断してほしいこと、古くなった設備や備品の修繕や更新の必要性、複雑になる勤務体制に合わせた職員配置の課題等々。最近では、小羊学園の中だけを考えていけばよいのではなく、利用者のご家庭や地域との関係も考慮して対応しなければならぬことが増えています。ましてや、福祉施設の経済は厳しくなっていますし、それに呼応して社会福祉の仕事をする人も減っているようです。施設運営の現場の悩みは尽きません。

それでも、施設長としては、何とか新しい枠組みを示し、できるだけ現場の職員が自分たちで判断できるようにしたいと考えます。しかし、若い職員たちは、周囲の状況を見ながら自分で適宜判断することはあまり得意でないようですし、思うような結果がでないことで自分の役割に自信が持てず、進むべき方向性が見えにくいための大きな不安に耐えられないようです。

さて、小羊学園に入所し生活している人たちの中で、最も多くの介護を必要とする人たちは、社会環境の変化を理解することも、自分たちの思いを話すこともできません。与えられた生活に自らをゆだねて生きている人たちなのです。彼らは積極的には自分を主張しないように見えます。関わる私たちが自身が仕事の手を休めて、ゆっくりと時間と場所を共有することの中で、彼らの思いを受け止めることができるような気がします。彼らは、自分たちのことをしっかりと見つめてくれて、大切に受けとめてくれる人を求めているように思います。そして、「そんなに、イライラしながら仕事していて本当に楽しいのですか」と問いかけられているように感じるので。

私たち自身、強い人の論理に立って生きているとき、自分の中に隠されている「弱さ」からくる声なき叫びを感じられなくなっているのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

二〇〇六年度事業報告

にあたって

理事長 稲松 義人

様々な課題を残しつつ障害者自立支援法が施行されたことにより、煩雑で分かりづらい事務手続きを強いられたことに加えて、おおぞら療育センターの聖隷福祉事業団への移行のための具体的な事務作業も重なり、法人事務局を中心に事務的な対応に追われた一年であった。

また、つばさ静岡においては、四月より全面オープンとなり、常時医療的なケアを必要とする超重症児者が入所してきました。慣れない職員が多い中で新しい生活へ適応できずに不安定な入所者への対応に、緊張を強いられる日々を過ごした。

小羊学園（児童寮・青年寮）では、家族会の支援を受けて中古住宅を購入し、二つ目の自活訓練棟「ひだまり」（青年寮で対応）での地域居住支援を始めた。すでに共同生活介護事業（ケアホーム）として運営している温心寮、児童寮で対応している自活訓練棟あゆみホームを合わせて、三箇所で一五人の人たちが、地域での生活をするようになった。それに合わせて、児童寮青年寮間でも居住支援グループを一部再編成し、児童寮には新たに学齢児が入

所となった。（新年度は久しぶりの三人定員満床となっている。）

新天地での新設の施設（つばさ静岡）においても、将来像を見据えつつこれまでの支援体制を変更していく過程においても、実践の過程で様々な困難な問題に遭遇し、管理職者と現場の職員チームをまとめるリーダーの役割について考えさせられる一年となった。

旧若樹学園から展開してきた浜北地区の事業では、工房わかぎ（支援センターわかぎ）で受け入れてきた在宅の人たちのための通所事業を、四月に知的障害者デイサービスセンター「オリブの樹」（一〇月からは生活介護事業所）としてスタートさせ、浜松地区において、在宅の人たちの日中活動を支

援する通所事業としては、小羊デイケアホーム、マルカートに続いて三箇所目となった。

そのほか特筆すべきこととして、創立者の一人であり三年前より浜松十字の園において療養生活をしておられた山浦明子氏が三月九日に永眠された。また年度末には、小羊学園開園時から職員の一人で、後年施設長としても長い問責任を担ってくださった渡辺禎子氏が退職された。

以上のように、二〇〇六年度は、様々なところで大きな時代の変化が感じられた一年であった。社会の動きも内部の体制の面でも先を見通しにくい状況の中で、老朽化した児童寮の改築を伴

う小羊学園（児童寮・青年寮）の移転改築計画は、浜松市の理解を得ることができ、二〇〇七年度事業として着手できる見通しとなっている。今回の施設整備は建物の更新ということだけではなく、利用者支援のあり方についても大きな発想の転換を求められると考えている。

大きく時代の波がうねる中、法人としての今後の事業展開の舵取りについて新しい体制について検討を重ねてきた。次の世代への継承を意識しつつ、法人全体で連携と協力をもって、果敢に航海を続けていかなければならないと感じている。

（二〇〇六年度事業報告書の前文）



この日のお昼は、バイキング（児童寮にて）

1.財産目録

流動資産	456,790,478
現金預金	180,973,908
未収金	220,021,618
貯蔵品	298,051
立替金	2,508,835
仮払金	0
前払金	2,488,066
短期貸付金	50,500,000
固定資産	3,151,761,990
(1)基本財産	2,820,386,943
土地	1,030,865,584
建物	1,789,521,359
(2)その他の固定資産	331,375,047
土地	8,613,876
建物	13,659,211
構築物	11,355,416
機械及び装置	132,956
車両運搬具	22,890,441
器具及び備品	69,161,370
建物仮勘定	4,200,000
投資有価証券	1,500,000
措置費施設繰越特定預金	2,000,000
施設・設備・整備積立金積立額	170,500,000
退職共済預け金	26,713,402
その他の固定資産	648,375
資産合計	3,608,552,468
流動負債	153,681,640
短期運営資金借入金	50,500,000
未払金	82,444,933
預り金	19,431,971
前受け金	1,153,912
仮受金	150,824
固定負債	1,189,327,110
設備資金借入金	1,162,613,708
退職給与引当金	26,713,402
負債合計	1,343,008,750
差引純資産	2,265,543,718

### 2.貸借対照表

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
<b>流動資産</b>	452,646,638	623,442,604	-170,795,966	<b>流動負債</b>	150,276,954	115,221,270	35,055,684
現金預金	180,973,908	287,985,267	-107,011,359	短期運営資金借入金	50,500,000	22,863,000	27,637,000
未収金	215,877,778	308,479,707	-92,601,929	未払金	79,040,247	90,547,750	-11,507,503
貯蔵品	298,051	198,822	99,229	預り金	19,431,971	966,700	18,465,271
立替金	2,508,835	3,805,808	-1,296,973	前受け金	1,153,912	800,000	353,912
仮払金	0	100,000	-100,000	仮受金	150,824	43,820	107,004
前払金	2,488,066	10,000	2,478,066				
短期貸付金	50,500,000	22,863,000	27,637,000	<b>固定負債</b>	1,189,227,110	1,696,540,130	-507,313,020
<b>固定資産</b>	3,151,761,990	5,179,966,517	-2,028,204,527	設備資金借入金	1,168,216,595	1,672,219,773	-509,706,065
(1)基本財産	2,820,386,943	4,743,532,324	-1,923,145,381	退職給与引当金	26,713,402	24,320,357	2,393,045
土地	1,030,865,584	1,397,236,812	-366,371,228				
建物	1,789,521,359	3,346,295,512	-1,556,774,153	<b>負債合計</b>	1,339,504,064	1,811,761,400	-472,257,336
(2)その他の固定資産	331,375,047	436,434,193	-105,059,146				
土地	8,613,876	8,613,876	0				
建物	13,659,211	111,691,339	-98,032,128	<b>純資産の部</b>			
構築物	11,355,416	50,774,696	-39,419,280	基本金	96,442,534	78,442,534	18,000,000
機械及び装置	132,956	1,704,430	-1,571,474	基本金	96,442,534	78,442,534	18,000,000
車両運搬具	22,890,441	28,908,872	-6,018,431	国庫補助金等特別積立金	1,168,216,595	1,982,057,299	-813,840,704
建設仮勘定	4,200,000	0	4,200,000	国庫補助金等特別積立金	1,168,216,595	1,982,057,299	-813,840,704
器具及び備品	69,161,370	140,356,873	-71,195,503	その他の積立金	172,500,000	65,565,625	106,934,375
投資有価証券	1,500,000	1,500,000	0	人件費積立金	0	18,565,625	-18,565,625
措置費施設繰越特定預金	2,000,000	28,065,625	-26,065,625	施設・整備等積立金	170,500,000	37,500,000	133,000,000
人件費積立預金	0	0	0	修繕費積立金	2,000,000	7,900,000	-5,900,000
施設・設備・整備積立金積立額	170,500,000	37,500,000	133,000,000	備品等購入積立金	0	1,600,000	-1,600,000
修繕費積立預金	0	0	0	その他の積立金	0	0	0
退職共済預け金	26,713,402	24,320,357	2,393,045	次期繰越活動収支差額	827,645,435	1,865,582,263	-1,037,936,828
その他の固定資産	648,375	2,998,125	-2,349,750	(うち当期繰越活動差額)	-991,440,380	154,027,756	-1,145,468,136
資産合計	3,604,408,628	5,803,409,121	-2,199,000,493	純資産合計	2,264,804,564	3,991,647,721	-1,726,843,157
				負債及び純資産の部合計	3,604,308,628	5,803,409,121	-2,199,100,493

脚注

- 1. 減価償却の累計額 555,932,686円
- 2. 徴収引当金の額 0円
- 3. 移行時特別積立預金の積立不足額 0円

※最も大きな部分を占めていたおおぞら療育センターに関わる基本財産等を聖隷福祉事業団に委譲したため、数値的には非常に厳しい決算となってしまいました。移管後のおおぞら療育センターは、聖隷三方原病院との一体運営の中で、滞りなく事業を継続してもらっています。

### 3.資金収支計算書（一般会計）

	勘定科目	予算	決算	差異
	経常活動による収支	収入		
利用料収入		635,206,000	641,508,505	-6,302,505
措置費収入		306,519,000	307,516,192	-997,192
保険診療収入		782,621,000	782,652,788	-31,788
経常経費補助金収入		92,007,000	88,806,956	3,200,044
寄付金収入		19,992,000	22,413,972	-2,421,972
雑収入		24,214,000	27,049,306	-2,835,306
借入金利息補助金収入		1,034,500	1,033,615	885
受取利息配当金収入		190,000	221,697	-31,697
経理区分間繰入金収入		240,351,000	240,263,092	87,908
経常収入計(1)		2,102,134,500	2,111,466,123	-9,331,623
支出				
人件費支出		1,558,415,000	1,557,440,950	974,050
事務費支出	237,876,500	233,462,469	4,414,031	
事業費支出	275,181,000	273,175,917	2,005,083	
借入金利息支出	4,722,000	4,683,876	38,124	
経理区分間繰入金支出	240,376,010	240,263,092	112,918	
会計単位間繰入金支出	0	0	0	
経常支出計(2)	2,316,570,510	2,309,026,304	7,544,206	
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-214,436,010	-197,560,181	-16,875,829	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	6,343,000	7,784,400	-1,441,400
	施設整備等寄付金収入	18,000,000	18,000,000	0
				0
	施設整備等収入計(4)	24,343,000	25,784,400	-1,441,400
	支出			
	固定資産取得支出	75,520,214	75,489,960	30,254
				0
	施設整備等支出計(5)	75,520,214	75,489,960	30,254
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-51,177,214	-49,705,560	-1,471,654
財務活動による収支	収入			
	借入金収入	0	0	0
	借入金元金償還補助金収入	18,000,000	18,000,000	0
	積立金取崩収入	26,065,000	26,065,625	-625
	その他の収入	351,809,000	351,734,605	74,395
	財務収入計(7)	395,874,000	395,800,230	73,770
	支出			
	借入金元金償還金支出	41,461,000	41,456,065	4,935
	積立預金積立金支出	133,000,000	133,000,000	0
	その他の支出	178,929,000	178,919,247	9,753
		1,011,000	1,010,827	173
	財務支出計(8)	354,401,000	354,386,139	14,861
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	41,473,000	41,414,091	58,909
予備費(10)	2,813,000	0	2,813,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-226,953,224	-205,851,650	-21,101,574	
前期末支払資金残高(12)	508,221,334	508,221,334	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	281,268,110	302,369,684	-21,101,574	

※単年度の収支の収支としても、おおぞら移管の影響があり、厳しい運営状況です。障害者自立支援法の下での運営に変更された事業では、生活介護事業（マルカート、オリブの樹、小羊デイケアホーム）については何とか移行に対応できましたが、ケアホーム事業（温心寮、ひまわり）については状況が厳しくなりました。

### 4.事業活動収支計算書（一般会計）

	勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
	事業活動収支の部	収入		
利用料収入		641,508,505	517,202,305	124,306,200
措置費収入		307,516,192	466,668,440	-159,152,248
保険診療収入		782,652,788	955,392,750	-172,739,962
経常経費補助金収入		88,806,956	78,530,803	10,276,153
寄付金収入		22,626,302	40,170,105	-17,543,803
雑収入		27,052,456	20,761,943	6,290,513
借入金元金償還補助金収入		18,000,000	28,505,000	-10,505,000
引当金戻入収入		2,291,539	1,033,988	1,257,551
国庫補助金等特別積立金取崩額		78,586,382	80,218,638	-1,632,256
事業活動収入計(1)		1,969,041,120	2,188,483,972	-219,442,852
支出				
人件費支出		1,557,609,050	1,359,807,957	197,801,093
事務費支出	233,863,415	234,652,948	-789,533	
事業費支出	273,178,527	273,223,885	-46,045,358	
減価償却費	138,005,958	147,781,140	-9,775,182	
徴収不能額	1,010,827	0	1,010,827	
引当金繰入	4,565,688	3,643,200	922,488	
事業活動支出計(2)	2,208,233,465	2,065,109,130	143,124,335	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	-239,192,345	123,374,842	-362,567,187	
事業活動外収支の部	収入			
	借入金利息補助金収入	1,033,615	2,258,100	-1,224,485
	受取利息配当金収入	221,697	6,966	214,731
	会計単位間繰入金収入	0	8,207,309	-8,207,309
	経理区分間繰入金収入	288,471,035	175,057,911	113,413,124
	事業活動外収入計(4)	289,726,347	185,530,286	104,196,061
	支出			
	借入金利息支出	4,683,876	9,619,649	-4,935,773
	経理区分間繰入金支出	288,471,035	175,057,911	113,413,124
	会計単位間繰入金支出	0	2,900,000	-2,900,000
	雑損失	683,432	0	683,432
	事業活動外支出計(5)	293,838,343	187,577,560	106,260,783
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-4,111,996	-2,047,274	-2,064,722
経常収支差額(7)=(3)+(6)	-243,304,341	121,327,568	-364,631,909	
特別収支の部	収入			
	施設整備等補助金収入	7,784,400	584,943,000	-577,158,600
	施設整備等寄付金収入	18,000,000	2,000,000	16,000,000
	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
	その他の特別収入	350,508,305	2,448,409	348,059,896
	特別収入計(8)	376,292,705	589,391,409	-213,098,704
	支出			
	基本金組入額	78,437,927	0	78,437,927
	国庫補助金等特別積立金積立額	6,051,000	551,326,439	-545,275,439
	固定資産売却損・処分損	402,254	213,329	188,925
	その他の特別損失	1,039,537,563	5,151,453	1,034,386,110
	特別支出計(9)	1,124,428,744	556,691,221	567,737,523
	財務活動資金収支差額(10)=(8)-(9)	-748,136,039	32,700,188	-780,836,227
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	-991,440,380	154,027,756	-1,145,468,136	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)	1,865,582,263	1,668,554,507	197,027,756
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	874,141,883	1,822,582,263	-948,440,380
	基本金取崩額(14)	60,437,927	0	60,437,927
	基本金組入額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	26,065,625	61,000,000	-34,934,375
	その他の積立金積立額(17)	133,000,000	18,000,000	115,000,000
	次期繰り越し活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	827,645,435	1,865,582,263	-1,037,936,828

### コミュニティの再生をめざす① 浜松市障がい児放課後支援連絡協議会（仮称）を開催

小羊学園児童寮で、夏期特別デイサービスをはじめたのは一二年前、一九九六年の夏でした。前年に新築移転した小羊デイケアホームの夏休みの間、空いた建物を使って、日頃通所してくる養護学校等を卒業した人たちの代わりに、養護学校に通う小学生、中学生を対象にして、全くの自主事業としてはじめました。

最初から全く手探りの状態でしたが、利用希望者は多く、在宅の障がい児支援（子育て支援）のニーズの大きさを感じたのでした。その後、静岡県配慮によって短期入所の制度を適用してくださり、昨春秋の制度変更を受けて今年は今中一時支援事業として準備をしています。一二回目となります。

浜松養護学校保護者の中で、このニーズを自覚された数名の有志が、障がい児の地域生活の場づくりを志しました。空き民家を利用して開設された「あつと♡ホーム」で、障がい児の小さな学童保育がはじまりました。何とか浜松市がそれに補助金をつけてくださることになり、その後、いくつかの事業所が増えました。

昨年も小羊学園を会場にして意見交換の会をしたのですが、今年アンサ

ンプル江之島の会議室に、小羊学園児童寮も入れると八か所が集まり、さらに相談支援事業所のワーカーや浜松市からも担当者が出席されて、貴重な意見交換の機会となりました。

話し合いの中で、障がいのある子どもたちの多くが遠くの養護学校に通い、また別の場所にある学童保育所に移動する。そこからまた自宅に戻る。移動支援が大きな課題であることがクローズアップされました。また同じ子どもが曜日によってあちこちの事業所を渡り歩いて利用していることも問題点として話されました。

日常的に自分たちの住む地域から離れた学校に通う障がいのある子どもたちにとって、放課後や学校の長期休暇などに家庭とともに子どもたちを育んでくれるような地域社会を作っていくなければならぬと思います。

事業所数が増え、利用枠は確かに増えてきています。しかし、どこも苦しい事業運営を強いられており、その他にも共通の問題点を感じることができました。行政にも理解してもらえよう訴えつつ、これからも定期的に会合をもって協議し、一緒に考えていくことの必要性を感じました。

### 職員募集

#### ①つばさ静岡の看護師募集

つばさ静岡は、静岡市内に開設され二年目になる重症心身障害児施設です。看護師による医療的なケアを必要とする人たちの入所施設です。必要数の看護師が得られず困っています。

連絡先…つばさ静岡

（静岡市葵区城北一七）

電話（〇五四）二四九一二八三〇

担当…羽山（事務長）

#### ②二〇〇八年度福祉・介護職員募集職種…生活支援員（知的障害児者、重症心身障害児者の生活支援介護）一〇名程度

勤務地…静岡市内、又は浜松市内  
募集締め切り…二〇〇七年八月三十一日  
応募方法…履歴書（指定様式）、卒業（見込）証明書、成績証明書、資格（取得見込）証明書、健康診断書、所定様式による短文、以上を左記に郵送又は持参

選考方法…実習（日程は各自調整します）  
面接（一〇月二日を予定）  
合否通知…一〇月下旬  
申込み・問い合わせ先（法人本部）  
浜松市北区細江町中川七四四〇一  
電話（〇五三）四二〇一〇八三〇

### 支える会だより

#### 2007年度小羊学園を支える会寄付金報告

5月分	21件	624,640円
6月分	52件	514,000円
(累計)	121件	1,926,631円)

皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

#### 小羊学園改築計画にご協力ください

（口座名義）「小羊学園を支える会」  
郵便振替口座 00890-4-45415  
りそな銀行浜松支店（普通）040005  
静岡銀行細江支店（普通）043483

問い合わせ先：小羊学園

〒431-1304 浜松市北区細江町中川7440-1  
電話 053-437-0826

### 編集後記

温心寮に生活し、日中は小羊デイケアホームに通うK君が、歩いて通所する行き帰り、ふらりと小羊学園に寄っていく。私が小羊学園に就職したときに、当時一四歳だった彼は、私の担当した七名のうちの一人であった。他の六名のうち一名は養護学校を卒業して自宅に戻り地元の授産所に通い、一人は浜松市内の成人施設に移った。別の一人は支援費制度になってから自宅に近い施設に移った。また一名は残念なこと小羊学園から天国に送ることになった。残る二名は今も小羊学園にいる。それぞれの人生だが、少しでも心豊かに生きてほしい。健やかに。（一）